

古墳の周囲にならべられた筒形の土器である埴輪をつくってみましょう

はにわをつくろう

作品づくりのオススメポイント

- 彫塑ねんどは自然乾燥させるだけで、焼き物のような風合いに仕上がります。
- 乾燥後、少し水をつけ、軍手などで磨くと金属のような光沢になります。
- 乾燥後、彫刻刀や紙やすりで簡単に加工でき、絵の具で発色よく着色できます。

用意するもの



- 彫塑ねんど ● ねんど板 ● ヘラ
- ペットボトル(500ml) ● カッターナイフ
- セロハンテープ



1 どうして埴輪が生まれたのかを学びましょう。

POINT 社会科の授業と合わせて実際に作る事で深く学べます。



2 500mlのペットボトルの底と口を切ります。

POINT ペットボトルの上の口はセロハンテープで塞ぎます。



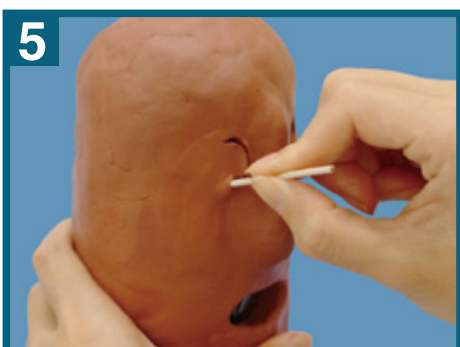
3 ねんどを巻きつけるように盛り付けていきます。

POINT ねんどをひも状に積み重ねる技法のひもづくりに挑戦してみましょう。



4 手や飾りなどをつけて仕上げていきます。

POINT 部品が外れないように、しっかり指先でならします。



5 ヘラやつまようじなどで穴をあけて乾燥させます。

POINT 乾燥後、補修する場合は補修箇所に水をつけ、ねんどを刷り込みます。



LEDライトを入れて光らせる事もできます。